

向羽黒山城の整備

日本城郭センター名誉館長 田中 哲雄

整備とは：遺産の保存継承と現代生活に活用

中世山城の特色：

機能-防衛	居城・	監視
↓	↓	↓

立地 山(急崖)・切岸・境目(国境)

構成(縄張) ①郭(曲輪) ②腰曲輪 ③帯曲輪 ④櫓

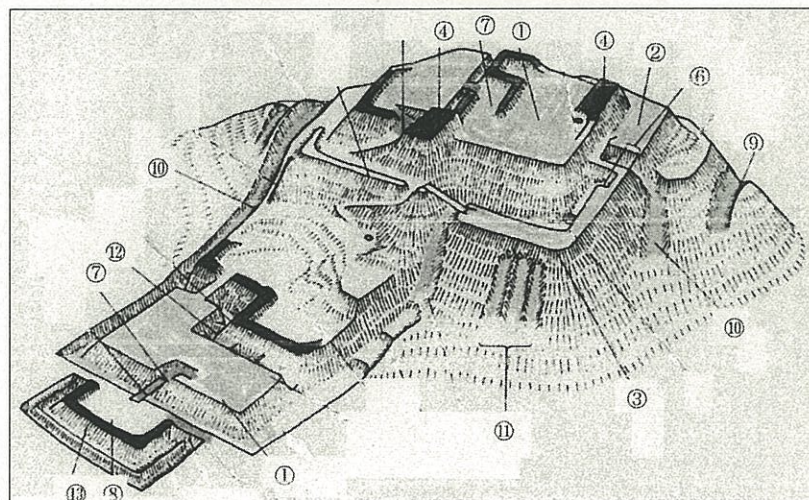
虎口(大手・搦手) ⑤平入り ⑥食い違い ⑦枡形 ⑧馬出し

堀 ⑨堀切 ⑩塹堀 ⑪畝堀 ⑫障子堀 ⑬土塁 ⑭城道

解明(調査) 文献史料・絵図・地籍図・地名-歴史の変遷・構成

地形：(縄張)-城道・虎口

景観：眺望



発掘：

中世城郭の構造

向羽黒山の特色

指定：蘆名-伊達-蒲生-上杉と拡張整備された会津地方最大規模の中世山城

「敵館銘」：堀・土塁が何重にもあり、門や垣根も格子の布のよう。根小屋2千余

発掘調査・縄張り調査

現状：森林

公開活用(町民参加) 特色顕在化

学習体験型：歴史調査(発掘・文献、現地-縄張・城道) 環境調査(植生)

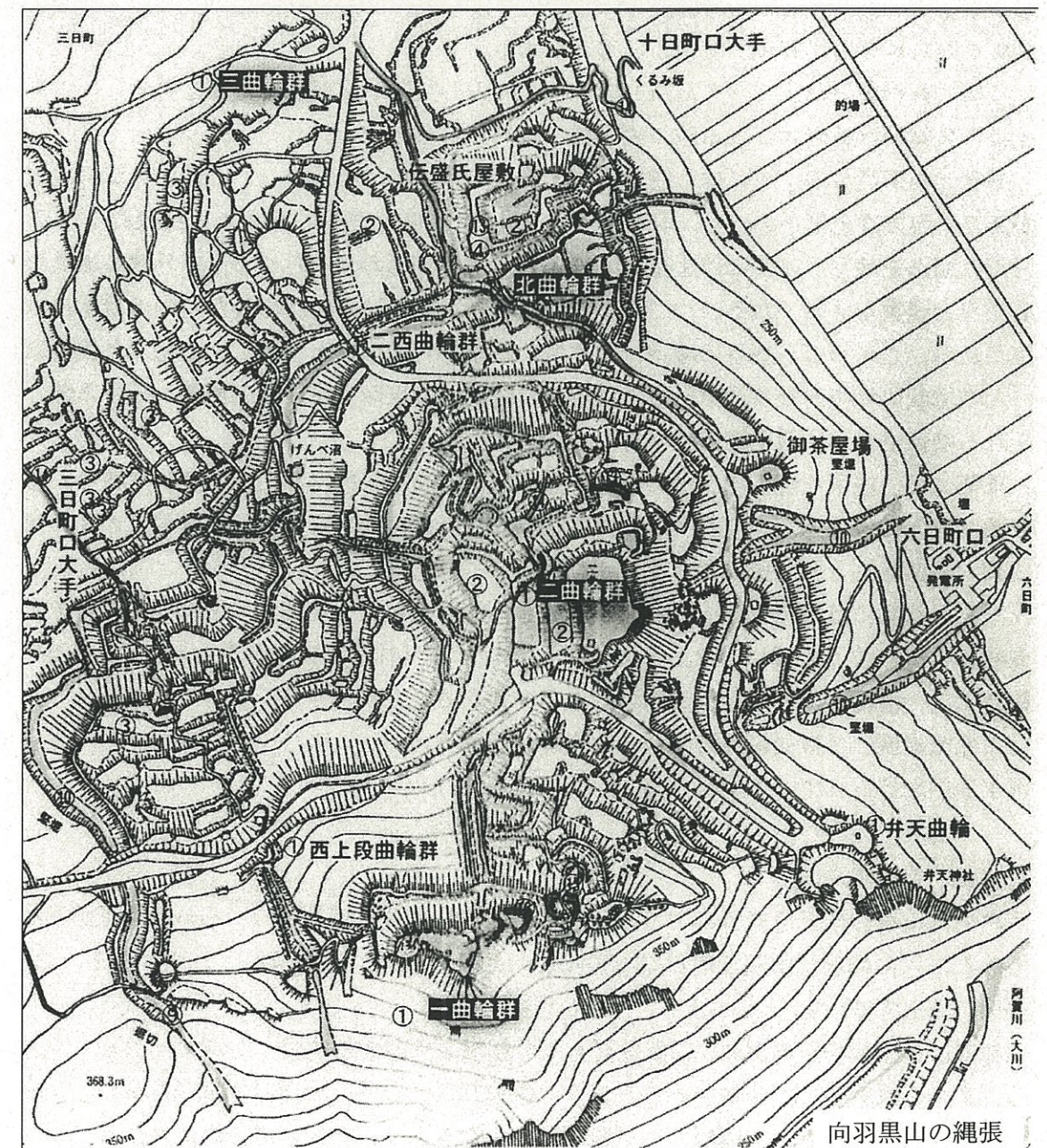
伝統産業(御茶屋-本郷焼、青芋-カラムシ) 模型(地形・人形) 作成

周遊型：城道・城内ウォークラリー・スタンプラリー 周辺関連遺産 県内

案内型：ガイド・案内マップ作成・キャラクター・シンボルマークの公募

維持管理型：清掃・除草・植生管理

イベント型：祭り・城まつり



向羽黒山の縄張